

◆ 火災統計 ◆



春の火災予防運動街頭広報
(令和3年3月28日)

1 火災の概要

令和2年中における出火件数は65件（前年48件）で、5.6日に1件の割合で発生し、昭和46年の広域消防発足以来最も少なかった前年より17件増加した。

火災種別ごとの出火状況をみると、建物火災が38件で、次いでその他の火災が13件、車両火災が10件、林野火災が3件、船舶火災が1件の順で、航空機火災は0件となっている。

前年と比較すると、建物火災が16件、車両火災が4件、船舶火災が1件増加しているが、林野火災、その他の火災が2件減少している。建物火災38件は、全火災の半数以上を占めており、建物火災の損害額は全損害額の9割以上を占めている。

区 分	令和2年 (A)	令和元年 (B)	増 減 (A) - (B)	過去10年平均
出火件数(件)	65	48	17	71.8
建物	38	22	16	38.3
うち住宅	21	12	9	21.1
林野	3	5	-2	3.2
車両	10	6	4	7.7
船舶	1	0	1	0.3
航空機	0	0	0	0.0
その他	13	15	-2	22.3
死者	5	3	2	9.8
うち住宅	5	2	3	2.8
負傷者	12	10	2	12.4
うち住宅	7	7	0	7.5
損害額(千円)	285,195	47,588	237,607	427,281
建物	282,216	44,224	237,992	—
うち住宅	208,984	30,138	178,846	—
林野	186	1,403	-1,217	—
車両	1,621	888	733	—
船舶	970	0	970	—
航空機	0	0	0	—
その他	202	1,073	-871	—
※ 出火率	3.5	2.5	0.9	3.7

※ 出火率：人口1万人当たりの出火件数